

## 「言語による時間生成」研究報告会

3年間のプロジェクトの成果報告として下記の通り研究報告会を対面にて開催した。報告会では研究代表者・協力者・分担者が当該プロジェクトに関連して行った研究についてその成果報告を行った。

日時：2023年3月21日（火） 10:00-17:00

会場：明海大学浦安キャンパス講義棟1階2102教室

主催：新学術領域研究「時間生成学」A01計画班「言語による時間生成」（研究代表：嶋田珠巳）

### プログラム

嶋田珠巳（明海大学）「言語による時間生成」活動報告

研究報告

浅原正幸（国立国語研究所）

「テキストの読み時間と過去・現在・未来」

越智綾子（国立国語研究所）

「過去と未来を主題とする作文にあらわれる時制表現の検討～性別や年齢ごとの特徴について」

小林一郎（お茶の水女子大学）

「時間を識別する深層学習モデルを用いた脳内状態推定」

Lis Kanashiro Pereira（お茶の水女子大学）

Robust Language Models for Japanese Temporal Reasoning

青山拓央（京都大学）

「時間の窓としての準-A系列」

嶋田珠巳, Joseph Tabolt, 鍛冶広真（明海大学）

「談話における時間関係を作り出す参照点と推論」

吉本啓（東北大学名誉教授）

「日本語複文におけるテンス情報の継承」

佐々木文彦, 嶋田珠巳（明海大学）

「アシタ・ユウベのダイクシス性獲得」

全体討論

総括